

宝塚市営霊園 事業計画書

令和 5 年 (2023 年) 1 月

－ 目 次 －

1	事業計画の見直しにあたって.....	1
	(1) 宝塚市営霊園事業計画とは.....	1
	(2) 計画見直しの趣旨.....	1
2	市営霊園の現状と課題.....	2
	(1) 市営霊園の概要.....	2
	(2) 市営霊園各霊園の現状と課題.....	2
	(3) 特別会計宝塚市営霊園事業費の経営状況.....	4
	(4) 新形態墓所.....	5
3	市民意識調査について.....	5
	(1) 市民意識調査の概要.....	5
	(2) 調査結果の整理と市民ニーズの把握.....	5
	(3) 墓地ニーズの考察.....	8
4	墓地需要の将来予測の見直し.....	8
	(1) 墓地需要の将来予測見直しの目的.....	8
	(2) 墓地需要を予測する算定方式.....	8
	(3) 需要数の算定(令和4年(2022年)度分).....	9
	(4) 墓地需要の将来予測見直しの結果.....	11
5	今後の市営霊園の運営方針.....	11
	(1) 樹木葬式墓所の整備.....	11
	(2) 長尾山霊園の使用対象者の拡大.....	14
	(3) 西山霊園の返還区画の再貸出.....	14
	(4) 合葬式墓所の貸出要件の変更.....	14
	(5) 各霊園内の大規模修繕の実施項目.....	14
	(6) 無縁墓の整理.....	15
	(7) 両家墓(一つの墓碑に二つの家名を刻字)の運用開始.....	15
	(8) 市営霊園永代管理料基金の閉鎖.....	15
	(9) 墓所返還に伴う還付金の見直し.....	15
	(10) 資金計画.....	15
	(11) 市営霊園の今後の取組、検討項目.....	16
	(12) 計画の見直し.....	17
別紙		
別紙1	宝塚市営霊園資金計画総括表.....	18
別紙2	合葬式墓所資金計画表.....	19
別紙3	樹木葬式墓所資金計画表.....	20

1 事業計画の見直しにあたって

(1) 宝塚市営霊園事業計画とは

本市の市営霊園は、昭和12年(1937年)開設の西山霊園を市制施行時に良元村から引き継いだ宝塚市営西山霊園(以下「西山霊園」という。)、昭和45年(1970年)に開設した宝塚市営長尾山霊園(以下「長尾山霊園」という。)、平成20年(2008年)に開設した宝塚市立宝塚すみれ墓苑(以下「宝塚すみれ墓苑」という。)の運営を行ってきた。

西山霊園、長尾山霊園は市一般会計で運営していた一方、平成24年(2012年)度に宝塚市都市整備公社から市への事業譲渡を行った宝塚すみれ墓苑については、譲渡時から特別会計として運営し、その事業費のほぼ全額を公営企業債で賄っており、当時のままの経営状況では、元利償還を行っていくと平成30年(2018年)度には資金不足になることが予想されていた。

宝塚すみれ墓苑の運営を健全なものとし、多様化する墓地ニーズに対応しつつ、長期的かつ安定的に墓地を提供するため、平成29年(2017年)11月に長尾山霊園、西山霊園を統合した宝塚市営霊園事業計画を策定した。

(2) 計画見直しの趣旨

平成29年(2017年)度に策定した事業計画(以下「H29事業計画」という。)後、宝塚すみれ墓苑においては、合葬式墓所や4㎡の区画を2㎡、3㎡の区画へと再整備した区画の貸出が好調であった。長尾山霊園においては、返還区画の再貸出が当初は好調だったものの、返還区画も急増していたことから、空き区画が増加する状況になっている。西山霊園においても、少数ではあるものの返還区画が発生している状況である。

一方、令和2年(2020年)度を実施した「墓地等に関する市民意識調査」(以下「R2市民意識調査」という。)により、新形態墓所として樹木葬式墓所を希望する声も高まっていることが判明した。

そこで、今回の見直しでは、宝塚すみれ墓苑での樹木葬式墓所の整備、長尾山霊園での市外在住者への貸出、西山霊園の返還区画の再貸出を盛り込むとともに、老朽化している既存施設の修繕も一部計画することとした。また、宝塚すみれ墓苑の用地費及び進入道路工事相当額の一部並びに利息相当額の一部を令和6年(2024年)度(市営霊園運営基金の残高が歳出額に満たなくなる年度)から、一般会計からの繰入を行うこととしていたが、収支改善により2年間先送りするとともに、さらに一般会計からの繰入を減額できるよう、墓地経営の収支改善に努めることとする。

2 市営霊園の現状と課題

(1) 市営霊園の概要

市内には、西山霊園、長尾山霊園、宝塚すみれ墓苑の3つの市営霊園がある。

(令和4年(2022年)4月1日現在)

西山霊園	
概要	管理運営主体:宝塚市 所在地:宝塚市青葉台1丁目25番12 設置年:昭和12年(1937年) 区画数:387区画
長尾山霊園	
概要	管理運営主体:宝塚市 所在地:宝塚市川面字長尾山15番352 設置年:昭和45年(1970年) 区画数:7,179区画
宝塚すみれ墓苑	
概要	管理運営主体:宝塚市 所在地:宝塚市下佐曾利字大谷1番66 設置年:平成20年(2008年) 区画数:2,425区画 その他:合葬式墓所

(2) 市営霊園各霊園の現状と課題

H29事業計画策定後の平成30年(2018年)度から令和3年(2021年)度までの4年間の各霊園の貸出状況及び課題は次のとおりである。

ア 宝塚すみれ墓苑

宝塚すみれ墓苑については、一般墓所は貸出計画数91区画に対し、貸出実績は154区画となっている。一方で、返還区画が62区画あった。

令和2年(2020年)度に4㎡区画(96区画)を、人気のある3㎡横長区画(36区画)と2㎡区画(104区画)に再整備した。

合葬式墓所については、貸出計画数200件に対し、貸出実績は728件となっている。

宝塚すみれ墓苑貸出状況

年度	一般墓所					合葬式墓所				
	H30	R元	R2	R3	計	H30	R元	R2	R3	計
計画数	22	23	23	23	91	50	50	50	50	200
実績数	45	32	22	55	154	396	141	92	99	728
達成率	205%	139%	96%	239%	169%	792%	282%	184%	198%	364%
返還数	18	16	15	13	62	0	2	8	4	14

宝塚すみれ墓苑は、開苑から約14年が経過し、墓所内の通路が劣化し、区画周辺の縁石も歪みが発生している。

また、苑内の中水設備については、調整池からの汲み上げポンプの故障修繕に多額の費用が掛かっている状態である。調整池の浚渫や、ろ過装置の修繕まで行き届いておらず、これらの装置の維持管理には多額の費用が見込まれる。

イ 長尾山霊園

長尾山霊園については、貸出計画数115区画に対して、貸出実績は109区画となった。一方で、返還区画が194区画となった。貸出実績は計画を概ね達成できているが、返還数が貸出実績を上回っていることから空き区画数が増加する状況となっている。令和3年(2021年)度の貸出実績は計画数から大きく減少した。既に使用している一般墓所を墓じまいし、合祀墓や納骨堂へ改葬するケースも多く、空き区画が増加する状況となっている。

長尾山霊園の使用者調査については、平成28年(2016年)度以降の取組により、概ね完了している。

長尾山霊園貸出状況

年度	H30	R元	R2	R3	計
計画数	28	29	29	29	115
実績数	32	32	31	14	109
達成率	114%	110%	107%	48%	95%
返還数	57	62	37	38	194

長尾山霊園の空き区画数の推移(各年度末現在)

H30	R元	R2	R3
152	184	202	226

(返還区画を分割して貸出している区画があるため、貸出状況とは一致しない。)

長尾山霊園は、開園から約50年が経過し、施設の老朽化が著しい。

管理事務所については、築後44年が経過し、施設の老朽化をはじめ、トイレのバリアフリー化ができていないことなど、使用者の利便性が損なわれている状況となっている。

園内通路や階段についても損傷が激しく、クラックやずれが生じている箇所もあり、修繕を行っていく必要がある。

園内の中水設備については、毎年膜ろ過装置については保守や修繕は行っているものの、取水送水設備について現在の設備を設置後30年が経過していることから、更新する必要がある。

猪とカラスによる被害も甚大で、猪については園内通路や広場だけでなく、使用者の区画内を掘り返されるケースが多発している。カラスについても、区画の花や花立て、空き区

画の募集案内看板などを荒らし、散乱させている状態となっており、苦情の原因となっている。

ウ 西山霊園

西山霊園については、貸出は行っておらず、返還区画が10区画あり、令和3年(2021年)度末現在で空き区画が19区画となった。

令和2年(2020年)度を実施した西山霊園墓地現況調査及び墓所配置調査により、霊園全体の区画が387区画となっている。使用者調査については、使用者の不明な墓所に立て看板を設置するとともに、連絡が可能な墓所については、承継や変更の届出を行うよう、文書等で連絡している。そのうち12区画については、使用者への連絡が取れない状態になっている。

また、西山霊園の空き区画の再貸出について、要望が寄せられている。

西山霊園の空き区画数の推移(各年度末現在)

H30	R元	R2	R3
12	14	15	19

西山霊園は、開園から約80年が経過し、施設の老朽化が著しい。

霊園の所在地の用途地域が第一種低層住宅専用地域であるため、管理事務所の建替えができないため、老朽化している事務所の修繕について検討する必要がある。

園内の擁壁にクラックが散見され、修繕を行う必要がある。

園内に墓参者用の駐車場が設置できていない状況になっている。

(3) 特別会計宝塚市営霊園事業費の経営状況

平成30年(2018年)度から特別会計宝塚市営霊園事業費として3霊園の事業費を一本化して管理運営している。

平成30年(2018年)度から令和3年(2021年)度までの収支状況について、計画時と比較すると次のとおりである。

(単位:千円)

		H30	R元	R2	R3
計画	単年度収支	△ 79,168	△ 74,960	△ 75,988	△ 77,111
	運営基金残高	440,145	365,185	289,196	212,085
実績	単年度収支	64,938	△ 68,630	△ 87,181	△ 62,426
	運営基金残高	628,631	560,001	472,820	410,394

H29事業計画に比べ収支改善を図れていることから、令和3年(2021年)度末現在の市営霊園運営基金残高が、計画では212,085千円であったものが410,394千円の実績となっている。

(4) 新形態墓所

現代社会において、人生の終焉をしめくくる葬送や、埋葬・墓地などの在り方について、様々な考え方があり、それに応じた多様な形式や収埋蔵方式などが行われるようになってきている。本市営霊園でも、一般墓所の貸出状況については、H29事業計画後は毎年計画数をかろうじて達成できている状況の中、合葬式墓所は一般墓所に比べ、使用料が安価で管理料が不要という点が支持を得ている。しかし、整備した当時は近隣市町に合葬式墓所を設置している公営墓地は少なかったが、徐々に整備されてきており、今後この貸出状況が続くことも難しくなることから、新たな魅力づくりとして市民ニーズの高い新形態墓所を整備する必要がある。

3 市民意識調査について

今回の墓地需要予測の見直し及び墓地整備に関する基礎的資料を得ることを目的として、20歳以上の世帯主3,000人を対象にR2市民意識調査(令和2年(2020年)12月)を実施した。

(1) 市民意識調査の概要

ア 調査項目

- ・基本属性
年齢、世帯構成、定住意向
- ・墓地所有の有無
お墓を持っている場合(取得しているお墓の運営形式、継承有無、お墓の満足度等)及びお墓の取得の意向
- ・新規に墓地を取得する意向
お墓を必要とする理由、お墓を必要とする時期、利用したいお墓のタイプ
- ・求めるお墓
経営主体、市営墓地利用意向、選ぶ際に考慮する事項、希望面積、形態、有期限墓の必要性及び年数
- ・樹木葬について
利用意向、利用したいタイプ、カロートのタイプ、希望樹種

イ 回収結果

回収数は1,482人、回収率は49.5%

(2) 調査結果の整理と市民ニーズの把握

R2市民意識調査の結果と平成15年(2003年)度と平成27年(2015年)度の市民アンケートの結果の対比を以下に示す。

複数回答の設問については、複数回答者の回答数に応じ、1票当たりの点数を按分し、回答数の合計を回答者数の合計と合致させることとした。

ア お墓を必要とするか？

年度	新規	改葬	必要ない	合計
H15	26.70%	4.90%	68.40%	100%
H27	12.68%	2.82%	84.50%	100%
R2	17.52%	3.94%	78.54%	100%

お墓が必要ないと答えた人が約78%と前回調査時から微減しているが、市民の多くは墓を必要と考えていない。

また、必要と考える人は、微増の17.5%となった。

イ 必要な時期

年度	すぐ	5年以内	10年以内	未定	合計
H15	11.1%	23.9%	11.9%	53.1%	100%
H27	6.5%	0.0%	9.1%	84.4%	100%
R2	3.5%	3.8%	6.9%	85.8%	100%

今回の調査でも前回の傾向は変わらず、約85%の人が未定であるとの回答であり、アの設問ではお墓を必要とする人の割合は微増しているものの、具体的に必要としている人の割合は依然として低いままである。

ウ お墓選びに考慮する点

年度	交通の便	管理状況	料金	区画面積	環境等	合計
H15	21.6%	14.0%	23.9%	9.6%	30.9%	100%
H27	53.0%	13.4%	22.0%	0.4%	11.2%	100%
R2	46.8%	8.8%	31.2%	0.0%	13.2%	100%

お墓の判断基準として、交通の便が依然高い割合となっているが、前回調査に比べると費用面を考慮される割合がかなり増えている。また、区画の面積を一番に考慮される割合が0になっており、使用者の管理しやすいお墓の需要が高まっているという結果となっている。

エ 求めるお墓の規模

年度	2㎡以下	3㎡	4㎡	6㎡以上	その他	合計
H15	21.5%	44.5%	23.8%	6.7%	3.5%	100%
H27	74.0%	12.0%	4.0%	2.0%	8.0%	100%
R2	68.8%	13.7%	10.7%	1.5%	5.3%	100%

今回の調査においても前回と傾向は変わらず、約7割が2㎡以下の墓地を求めているという結果となり、依然として必要最小限の墓地が好まれているという傾向が伺える。

オ 希望するお墓の形態（複数回答）

年度	従来型 (和・洋)	芝生洋型	合葬型 (新形態)	樹木葬型	その他	合計
H15	59.3%	22.3%	3.4%		15.0%	100%
H27	41.0%	14.0%	31.0%		14.0%	100%
R2	25.2%	11.0%	14.2%	23.3%	26.3%	100%

平成27年（2015年）度調査に比べ、従来型や芝生洋型の需要がさらに下がり、樹木葬型の需要が最も高い結果となった。合葬型については前回より約17ポイント下落している。

従来型と芝生洋型の合計36.2%と、合葬型と樹木葬型の合計37.5%が拮抗し、従来型のニーズが減少し、承継が不要な合葬タイプのニーズが高まってきていることが伺える。

その他の割合も1割ほど上昇し、納骨壇型など他の新型形態墓の需要も依然上昇していると考えられる。

カ 樹木葬について

(ア) 利用したい樹木葬のタイプ

年度	シンボルツリー型 (1本)	シンボルツリー型 (複数)	ガーデニング型	里山型	その他	合計
R2	19.5%	18.0%	45.3%	13.3%	3.9%	100%

ガーデニング型が45.3%と、1番人気となった。

ガーデニング型とシンボルツリー型を合わせると82.8%の需要がある。

市民の趣向として、西洋風でおしゃれなものを好む傾向が伺える。

(イ) 利用したい埋蔵方式

年度	個別埋蔵	夫婦埋蔵	合同埋蔵	その他	合計
R2	24.2%	39.1%	16.4%	20.3%	100%

夫婦で埋蔵するタイプが一番人気となった。

子どもに管理を任せず、一代で完結したいが、個別ではなく夫婦で埋蔵されたいという需要が高い。

(ウ) 樹木葬に対するこだわり（複数回答）

年度	遺骨が土に還る	埋蔵場所がわかる	墓碑がある	その他	合計
R2	39.7%	33.1%	22.9%	4.3%	100%

こだわりとしては遺骨が土に還るものが一番人気となったが、埋蔵場所がわかるものも僅差である。

遺骨が土に還るが、散骨ではなく墓碑等で埋蔵場所を示し、その下に納骨するようなスタイルが好まれる印象である。

(3) 墓地ニーズの考察

市民のお墓に関する考え方について、家墓という考え方が希薄になり、従来墓のニーズが低くなってきている。また、その需要も区画面積の小さい方が高い。このことは、令和2年（2020年）度に再整備した宝塚すみれ墓苑の3㎡横長区画や2㎡区画の貸出状況が好調であることから伺える。

一方で、メディア等において合葬式墓所や樹木葬式墓所といった新形態墓が報じられ、市民にも存在が認知されてきており、墓地に関する費用を低く抑えられ、使用者の承継を必要とせず、一代で完結できることができる合葬式墓所などの新形態墓へのニーズが高くなっていることが伺える。また、人口の減少傾向が変わらない限り、この傾向は続くと思われる。

これらのことから、市民の墓地に対する考え方も多様化しており、今後も新たな新形態墓も含めた、きめ細やかなニーズに対応した墓地の提供を行っていく必要がある。

4 墓地需要の将来予測の見直し

(1) 墓地需要の将来予測見直しの目的

H29事業計画における墓地需要予測は、当時の貸出実績及び平成28年（2016年）3月の「宝塚市営霊園有効利用調査報告書」の墓地需要予測をもとに算出した。本事業計画では、R2市民意識調査の結果を基に令和3年（2021年）度までの貸出実態を考慮した墓地需要予測の見直しを行い、将来にわたる霊園経営の基礎資料とする。

(2) 墓地需要を予測する算定方式

墓地需要量の将来予測については、広く利用されている算式として、新規墓地需要数の算定には「大阪府方式」、改葬墓地需要数の算定には「高知市方式」を採用し、各方式をもとに算出したうえで実態を考慮して補正を行うこととする。

ア 宝塚市民の新規墓地需要数の算定（大阪府方式）

死亡者数を基に居住地への定住性の傾向や墓地の購入意思等を考慮した算定方法

※ 死亡者数×定住志向率×新規墓地需要率

イ 宝塚市民の改葬市営墓地需要数の算定（高知市方式）

世帯数をもとに、居住地への定住性の傾向や墓地の改葬意思等を考慮した算定方法

※ 普通世帯数×定住志向率×改葬需要率÷世帯存続年数(50年)

(ア) 宝塚すみれ墓苑及び長尾山霊園の需要率の算定について

R2市民意識調査において、市営霊園を利用したいと回答した方のうち、宝塚すみれ墓苑及び長尾山霊園をそれぞれ希望された方の割合(14.5%、19.0%)を需要率として採用し算定する。

(イ) 宝塚すみれ墓苑一般墓所の市外の需要数の算定について

令和元年(2019年)度から令和3年(2021年)度までの実績値(市民64区画、市民以外45区画)より市民の70%と見込む。

(ウ) 合葬式墓所及び樹木葬式墓所の市外の需要数の算定について

合葬式墓所については、令和元年(2019年)度から令和3年(2021年)度までの実績値(市民207件、市民以外125件)より市民の60%と見込む。

樹木葬式墓所についても、合葬式墓所の利用率(60%)を準用する。

(エ) 長尾山霊園の市外の需要数の算定について

令和5年(2023年)度から長尾山霊園の市外への貸出を開始する予定であるが、市外の需要数については、実績値がないため、今回は算定しないこととする。

(オ) 実態に合わせた需要数の算定について

近年の少子化・核家族化・生涯独身世帯の増加等を背景としてお墓の承継を負担に感じる遺族が納骨堂や合葬式墓所を選ぶケースが増えてきており、お墓の需要は減少傾向にある。このことから、貸出状況の実態に即した補正率を0.35として補正し需要数を求める。

(3) 需要数の算定(令和4年(2022年)度分)

*算定した数字は全て小数点未満切捨てとする。

ア 宝塚すみれ墓苑一般墓所

(ア) 新規墓地需要数

$$\begin{aligned} &= \text{死亡者数(R3年)} \times \text{定住志向率} \times \text{新規墓地需要率(R2市民意識調査結果)} \\ &= 2,363 \text{人} \times 0.669 \times 0.175 \\ &= 276 \end{aligned}$$

(イ) 改葬墓地需要数

$$\begin{aligned} &= \text{普通世帯数} \times \text{定住志向率} \times \text{改葬需要率(R2市民意識調査結果)} \div \text{世帯存続年数} \\ &= 95,886 \text{世帯} \times 0.669 \times 0.039 \div 50 \text{年} \\ &= 50 \end{aligned}$$

(ウ) 宝塚すみれ墓苑墓地需要数

$$\begin{aligned} &= ((\text{ア}) \text{新規墓地需要数} + (\text{イ}) \text{改葬墓地需要数}) \times \text{宝塚すみれ墓苑需要率} \times (1 + \text{宝塚すみれ墓苑市外利用率}) \\ &= (276 + 50) \times 0.145 \times (1 + 0.7) \\ &= 80 \end{aligned}$$

(エ) 実態に合わせた需要数算定

$$\begin{aligned} &= \text{宝塚すみれ墓苑墓地需要数} \times \text{実態に即した補正率} \\ &= 80 \times 0.35 \\ &= 28 \end{aligned}$$

イ 長尾山霊園

(ア) 新規墓地需要数

$$\begin{aligned} &= \text{死亡者数 (R3年)} \times \text{定住志向率} \times \text{新規墓地需要率 (R2市民意識調査結果)} \\ &= 2,363 \text{人} \times 0.669 \times 0.175 \\ &= 276 \end{aligned}$$

(イ) 改葬墓地需要数

$$\begin{aligned} &= \text{普通世帯数} \times \text{定住志向率} \times \text{改葬需要率 (R2市民意識調査結果)} \div \text{世帯存続年数} \\ &= 95,886 \text{世帯} \times 0.669 \times 0.039 \div 50 \text{年} \\ &= 50 \end{aligned}$$

(ウ) 長尾山霊園墓地需要数

$$\begin{aligned} &= ((\text{ア}) \text{新規墓地需要数} + (\text{イ}) \text{改葬墓地需要数}) \times \text{長尾山霊園墓苑需要率} \\ &= (276 + 50) \times 0.19 \\ &= 61 \end{aligned}$$

(エ) 実態に合わせた需要数算定

$$\begin{aligned} &= \text{長尾山霊園墓地需要数} \times \text{実態に即した補正率} \\ &= 61 \times 0.35 \\ &= 21 \end{aligned}$$

ウ 合葬式墓所

(ア) 新規墓地需要数

$$\begin{aligned} &= \text{死亡者数 (R3年)} \times \text{定住志向率} \times \text{新規墓地需要率 (R2市民意識調査結果)} \\ &= 2,363 \text{人} \times 0.669 \times 0.175 \\ &= 276 \end{aligned}$$

(イ) 改葬墓地需要数

$$\begin{aligned} &= \text{普通世帯数} \times \text{定住志向率} \times \text{改葬需要率 (R2市民意識調査結果)} \div \text{世帯存続年数} \\ &= 95,886 \text{世帯} \times 0.669 \times 0.039 \div 50 \text{年} \\ &= 50 \end{aligned}$$

(ウ) 合葬式墓所需要数

$$\begin{aligned} &= ((\text{ア}) \text{新規墓地需要数} + (\text{イ}) \text{改葬墓地需要数}) \times \text{市営霊園希望率} \times \text{合葬式墓所希望率} \times (1 + \text{市外利用率}) \\ &= (276 + 50) \times 0.345 \times 0.142 \times (1 + 0.6) \\ &= 25 \end{aligned}$$

エ 樹木葬式墓所

(ア) 新規墓地需要数

$$\begin{aligned} &= \text{死亡者数 (R3年)} \times \text{定住志向率} \times \text{新規墓地需要率 (R2市民意識調査結果)} \\ &= 2,363 \text{人} \times 0.669 \times 0.175 \\ &= 276 \end{aligned}$$

(イ) 改葬墓地需要数

$$\begin{aligned} &= \text{普通世帯数} \times \text{定住志向率} \times \text{改葬需要率 (R2市民意識調査結果)} \div \text{世帯存続年数} \\ &= 95,886 \text{世帯} \times 0.669 \times 0.039 \div 50 \text{年} \\ &= 50 \end{aligned}$$

(ウ) 樹木葬式墓所需要数

$$\begin{aligned} &= ((\text{ア}) \text{新規墓地需要数} + (\text{イ}) \text{改葬墓地需要数}) \times \text{市営霊園希望率} \times \text{樹木葬式墓所希望率} \times (1 + \text{市外利用率}) \\ &= (276 + 50) \times 0.345 \times 0.233 \times (1 + 0.6) \\ &= 41 \end{aligned}$$

(4) 墓地需要の将来予測見直しの結果

上記算定方法により、令和5年(2023年)度から令和24年(2042年)年度までの需要数を算出したところ、それぞれ宝塚すみれ墓苑は560区画、長尾山霊園は420区画であった。

宝塚すみれ墓苑の総区画数は現在2,415区画で令和3年(2021年)度末現在の空き区画数は636区画であるため、毎年度返還がないと仮定しても本事業計画内では需要を賅うことができる。

長尾山霊園においては、総区画数7,179区画で令和3年(2021年)度末現在の空き区画は226区画であるが、毎年一定数の返還があると見込まれるため、本事業計画内において貸出区画が枯渇することはないと想定している。

合葬式墓所は毎年25体、令和24年(2042年)度までで500体の申込を想定しているが、現在の申込数との合計は1,278体であり、十分に需要数を賅うことができる。

5 今後の市営霊園の運営方針

(1) 樹木葬式墓所の整備

ア 概要

市営霊園の新たな魅力づくりのために、R2市民意識調査で需要の高かった樹木葬式墓所を整備する。タイプとしては調査で人気があり、日本国内でもポピュラーなシンボルツリー型とガーデニング型を整備する。

施設名 宝塚市立宝塚すみれ墓苑 樹木葬式墓所

整備面積 約900㎡

設置場所 宝塚すみれ墓苑内管理棟の南東側に設置

イ 墓所の形態及び運用方法

(ア) 共同埋蔵型

形態 シンボルツリーのもとに共同で埋蔵する大型カロートを設置したもの
カロートの底は接地しており、土に還ることをコンセプトとする。

埋蔵数 約3,000体

収容方法 共同埋蔵

共同埋蔵用カロートに骨袋に入れた焼骨を埋蔵する。希望者は、記名板を使用することができる。形式は金属で作成したプレートに名前等を刻字し、設置するものとする。個人名(生年月日、死亡年月日入りも選択可)・夫婦連名を刻字できることとする。

焼骨の返還については、共同で埋蔵するため、焼骨の特定が困難であり、不可とする。

(イ) 大型シンボルツリー型

形態 シンボルツリーの周囲に個別埋蔵用のカロートを設置したもの
カロートの底は接地しており、土に還ることをコンセプトとする。

区画数 79区画

収容方法 1区画につき骨袋に入れた焼骨を2体まで納骨可

埋蔵の際に、カロート上に設置する家名石は使用者自身に準備いただく。

焼骨の返還については可能とするが、使用料の返還はしない。

(ウ) 小型シンボルツリー型

形態 シンボルツリーの周囲に個別埋蔵用のカロートを設置したもの
20年経過後、共同埋蔵型のカロートへ改葬する。

区画数 5か所、計126区画

収容方法 個別埋蔵

1区画につき最大2体の焼骨を埋蔵することが可能とし、20年の使用期間経過後に共同埋蔵型へ改葬する。改葬業務を円滑にするため、埋蔵は骨壺に入れた状態で行う。

埋蔵の際に、カロート上に設置する家名石は使用者自身に準備いただく。改葬の際は使用者から家名石の引取りの要望がない限り、一定期間経過後に市で処分する。

焼骨の返還については、共同埋蔵型への改葬前であれば可能とするが、使用料の返還はしない。

(エ) ガーデニング型

形態 西洋風の花壇の中に個別埋蔵用のカロートを設置したもの

区画数 40区画

収容方法 個別埋蔵

1区画につき最大2体の焼骨を埋蔵することを可能とし、20年の使用期間経過後

に共同埋蔵型へ改葬する。改葬業務を円滑にするため、埋蔵は骨壺に入れた状態で行う。

埋蔵の際に、カロート上に設置する家名石は使用者自身に準備いただく。改葬の際は使用者から家名石の引取りの要望がない限り、一定期間経過後に市で処分する。

焼骨の返還については、共同埋蔵型への改葬前であれば可能とするが、使用料の返還はしない。

ウ 使用者の条件

市内、市外などの条件を設けず、誰でも申込を可能とする。

エ 使用料

《経費》

調査費、設計費、工事費及び各墓所に係るランニングコストは次のとおり試算した。

- 調査費：880,000円（墓地等に関する市民意識調査）
- 設計費：7,029,000円（樹木葬式墓所測量設計委託料）
- 工事費：87,650,000円（予算ベース）
- ランニングコスト：549,544,000円（60年間）
 - ・借入金利子：9,216,000円
 - ・維持管理費：540,328,000円

（初年度7,496,000円、年0.5%物価上昇として60年間の維持管理費）

◎ 経費計：645,103,000円

《使用料》

共同埋蔵型、大型シンボルツリー型、小型シンボルツリー型、ガーデニング型とも総区画数、貸出形式、民間の樹木葬式墓所などを参考に、樹木葬式墓所のみで事業成立となるよう、次のとおりの貸出料金を設定する。

樹木葬式墓所各種別毎の概要

種別	共同埋蔵型	大型シンボルツリー型	小型シンボルツリー型	ガーデニング型
全区画数	3000体分	79区画	1カ所あたり23～27区画 全体で5カ所126区画	40区画
使用料 (税別)	200,000円	800,000円	500,000円	700,000円
管理料	なし	なし	なし	なし
貸出形式	永代使用 骨袋に入れて納骨 土に還るタイプ	永代使用 1区画に2体まで 骨袋に入れて納骨 土に還るタイプ	20年の使用期間後、共同埋蔵型へ改葬する。 改葬に係る費用は使用料に含んでいる。 1区画に2体まで 骨壺のまま納骨 土に触れないタイプ	20年の使用期間後、共同埋蔵型へ改葬する。 改葬に係る費用は使用料に含んでいる。 1区画に2体まで 骨壺のまま納骨 土に触れないタイプ
家名石 記名板	記名板 1枚50,000円 デザインは3種より選択	家名石を使用者が調達 大きさのみ市が指定 石種、デザイン等は使用者で決定	家名石を使用者が調達 大きさのみ市が指定 石種、デザイン等は使用者で決定	家名石を使用者が調達 大きさのみ市が指定 石種、デザイン等は使用者で決定

(2) 長尾山霊園の使用対象者の拡大

長尾山霊園は、宝塚市民の墓地需要に応えるために整備した墓地であり、現在も使用者になるには宝塚市に住民票があることを要件としている。

しかし、近年は空き区画の再貸出し数よりも返還数が上回る状態が続き、貸出区画数自体も再貸出しを開始した平成29年(2017年)度以降は減少傾向にある。

長尾山霊園は、開園から50年以上経過し、施設の老朽化が目立つこと。また、バリアフリーに対応できていないことなどから、対象を市民に限定しては、今後も貸出数の上積みは難しいと考えられる。

一方、丘陵地を持たない近隣市については墓地が不足していることや、西宮市の北部は長尾山霊園に程近いことから、市外からの需要があると見込まれる。

よって、令和5年(2023年)度より、長尾山霊園についても市民限定の要件を撤廃し、市外の方も申込を可能とする。

(3) 西山霊園の返還区画の再貸出

西山霊園については、平成28年(2016年)から各区画の面積の確定作業や、使用者調査を行ってきた。一部の使用者が判明していない区画では、墓石に市への連絡を促すことを記載した札をかけ、使用者への通知手段として実施している。このまま連絡が無い場合は、来年度から無縁改葬の手続きを進めていく。また、返還区画は毎年発生していること、市民から再貸出の要望があることから、令和7年(2025年)度から市民を対象として、再貸出を行う。使用料については、今後検討する。

(4) 合葬式墓所の貸出要件の変更

樹木葬式墓所の貸出要件に合わせ、合葬式墓所において市民に限っている生前申込の貸出要件を撤廃する。

(5) 各霊園内の大規模修繕の実施項目

各霊園の課題を踏まえ、下記の修繕を段階的に実施する。支出については霊園整備事業債を活用し平準化する。

ア 宝塚すみれ墓苑

・苑内上水化工事

中水のろ過設備に係るランニングコストが増大していくことから、費用対効果を検証し、墓苑内の中水エリアを全て上水化する。

イ 長尾山霊園

・取水送水設備の更新

園内全体に送水するための取水送水設備のうち、老朽化の著しい貯水ダムからの取水設備及びろ過後の水の配水設備の制御盤等機械設備を更新する。

ウ 西山霊園

・来園者用駐車場の整備

現在園内に来園者用駐車場がない状態である。西山霊園の再貸出に向け、管理事務所裏に来園者用駐車場を整備する。

(6) 無縁墓の整理

西山霊園及び長尾山霊園の使用者調査が概ね終了した。今後は期限を設定の上、連絡の無い区画において、順次無縁改葬の手續きに着手する。

今後、改葬地の選定、整備について検討を行う必要がある。

(7) 両家墓（一つの墓碑に二つの家名を刻字）の運用開始

少子化の進展により、現在ある墓地の承継が困難になり、いわゆる絶家墓となるケースが増えてきている。市営霊園では、本来1区画内に建立できる墓碑は1基と規定しているが、絶家墓となる墓碑について2基建立を例外として認めてきている。また、絶家墓となるものの墓碑がないケースについて、これまでは事例はないものの要望も届いていることから、今後次の取り扱いとして運用を開始する。

現在「墓碑に家名を表示する場合は、普通墓所使用者または埋蔵されている者のいずれかの姓に限ること。」としており、1つの家名表示しか認めていないが、2家名まで表示できるように変更する。

(8) 市営霊園永代管理料基金の閉鎖

令和4年（2022年）度を最後に、長尾山霊園における永代管理料の還付対象となる区画がなくなることから、市営霊園永代管理料基金を閉鎖し、市営霊園運営基金に積み立てる。

(9) 墓所返還に伴う還付金の見直し

近年、長尾山霊園の区画の返還が増加し、返還に伴う使用料の還付金が増大しており、霊園運営の課題となっている。そのため、平成29年（2017年）9月1日以前に使用を許可した長尾山霊園及び西山霊園の区画の返還に伴う使用料の還付は行わない。

(10) 資金計画

新たな墓地需要予測、樹木葬式墓所の整備、各霊園の大規模修繕の実施等に基づき、資金計画を更新する。西山霊園の再貸出しについて現時点での長尾山霊園の使用料単価で算定している。

ア 各霊園の需要数を本事業計画上の算定数に更新する。

イ 宝塚すみれ墓苑取得にかかる用地費及び造成費に該当する費用分の一般会計からの繰入開始年度を令和6年（2024年）度から令和8年（2026年）度へ先送りする。

ウ 樹木葬式墓所を設置し、令和5年（2023年）度から貸出を開始する。

- エ 西山霊園の再貸出を令和7年(2025年)度から開始する。
- オ 各霊園の大規模修繕を計画的に実施する。
- カ 市営霊園永代管理料基金を閉鎖し、10,163千円を市営霊園運営基金に積み立てる。

(11) 市営霊園の今後の取組、検討項目

各霊園における現状及び今後の取組を踏まえ、今後検討が必要な課題は次のとおりである。

ア 宝塚すみれ墓苑

(ア) 期限付墓所の検討

墓を無縁化させない仕組みをつくる方法のひとつとして、子孫が継ぐことを前提とした永代使用ではなく、使用期間を定める墓所を検討する。

期間が満了すれば合葬式墓所等に改葬する。

(イ) ベンチ、日影の設置

利用者の利便性の確保のため、ベンチや日陰スペースなどの休息施設の増設を検討する。

(ウ) 苑内通路の修繕

一般墓所内の通路や大階段など老朽化が進んできており、修繕等の対応が必要になっている。

(エ) 調整池の浚渫

苑内の調整池について、開苑以降浚渫が出来ておらず、汚泥の堆積が見受けられる。今後の実施に向け検討していく必要がある。

イ 長尾山霊園

(ア) 枯木伐採・植栽

景観を害し、倒木の可能性のある枯木(主にマツ)の伐採や、生垣の植栽を毎年委託・職員にて進め、良好な園内景観の維持に努める。

(イ) 園内設備の更新・修繕

園内道路については、ひび割れや排水不良の側溝が散見される。区画周辺についても、階段や通路の縁石が損傷している箇所がある。園内のフェンスについても、老朽化、錆び等の発生が散見される。これらの修繕・更新を計画的に実施する必要がある。

(ウ) 管理事務所の建替え

管理事務所は、築後44年が経過しており、施設の老朽化をはじめ、トイレのバリアフリー化が出来ていないことなど、使用者の利便性が損なわれている。建替えに向けた検討を開始する必要がある。

(エ) 猪とカラスによる被害対策

猪とカラスによる被害も甚大で、猪については園内通路や広場だけでなく、使用者の区画内を掘り返されるケースが多発している。カラスについても、区画の花や花

立て、空き区画の募集案内看板などを荒らし、散乱させている状態となっており、苦情の原因となっている。

猪対策として、フェンスの設置や忌避剤の散布を検討する必要がある。カラス対策として、鷹の放鳥を検討する。

ウ 西山霊園

(ア) 管理事務所の改修

管理事務所の建替えができないため、屋根の葺き替え(軽量化)や建具の更新、トイレの改修などによる対応を検討していく必要がある。

(イ) 園内擁壁の修繕

クラックが入っている擁壁が散見されることから、補修を順次行っていく必要がある。

(12) 計画の見直し

将来のお墓の需要については、お墓や埋葬に対する市民の考え方が変化していく中で、これまでの一般墓所だけでなく、合葬式墓所をはじめとする新形態墓所のニーズも拡大している。

墓地の需要予測を行うためには、定期的に市民アンケートを実施し、ニーズ調査と合わせて市民の意識調査を行うこととし、その結果を基に計画の見直しを行う。

合葬式墓所 資金計画表

Table with columns for fiscal year (事業年度), annual (年度), and 25-year projections (1-25). Rows are categorized into Income (収入), Debt (起債), and Project Expenses (事業支出), with detailed sub-items for each category.

樹木葬式墓所 資金計画表

事業年度			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19			
年度			R3 (決)	R4 (予)	R5 (予)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	
貸出 計画 数	共同埋蔵型 (永年)	新規	0	0	6	6	6	6	6	6	6	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	
		記名板			2	2	2	2	2	2	2	2	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
		使用者累計(3,000)	0	0	6	12	18	24	30	36	42	48	83	124	165	206	247	288	329	370	411	452	493	534
	大型シンボルツリー型 (永年)	新規	0	0	13	11	11	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		使用区画数(79)	0	0	13	24	35	46	57	68	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79
	小型シンボルツリー型 (有期限20年)	新規	0	0	16	18	18	18	18	18	18	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
使用者累計(126)		0	0	16	34	52	70	88	106	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	
カーニング型 (有期限20年)	新規	0	0	6	6	6	6	6	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	使用者区画数(40)	0	0	6	12	18	24	30	36	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
歳入	借入金(起債)		7,000	87,600																				
	事業収入	使用料(共同) 200,000			1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	
		使用料(大型) 800,000			11,440	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		使用料(小型) 500,000			8,800	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	11,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		使用料(カーニング) 700,000			4,620	4,620	4,620	4,620	4,620	4,620	3,080	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		記名板 50,000			110	110	110	110	110	110	110	110	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770
合計		7,000	87,600	26,290	25,630	25,630	25,630	25,630	25,630	25,190	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790		
歳出	償還事業	元金 40回払		175	2,540	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	4,730	
		利子(設計:0.315%、工事:1.000%)		12	460	864	819	774	729	684	639	594	549	505	460	415	370	325	280	235	190	145	100	
		計	0	187	3,000	5,594	5,549	5,504	5,459	5,414	5,369	5,324	5,279	5,235	5,190	5,145	5,100	5,055	5,010	4,965	4,920	4,875	4,830	
	事業支出	工事費	7,029	87,650										2,000										
		維持管理委託 上昇率0.5%			5,695	5,723	5,752	5,781	5,810	5,839	5,868	5,897	5,927	5,956	5,986	6,016	6,046	6,076	6,107	6,137	6,168	6,199	6,230	
		光熱水費 上昇率0.5%			72	72	73	73	73	74	74	75	75	75	76	76	76	77	77	78	78	78	78	79
		人件費 上昇率0.5%			1,715	1,724	1,732	1,741	1,750	1,758	1,767	1,776	1,785	1,794	1,803	1,812	1,821	1,830	1,839	1,848	1,857	1,867	1,876	
		改葬納骨,廃材処理 22,000																						
		記名板作成料 6,578			14	14	14	14	14	14	14	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93
	計		7,029	87,650	7,496	7,533	7,571	7,609	7,647	7,685	7,723	7,841	7,880	9,919	7,958	7,997	8,036	8,076	8,116	8,156	8,197	8,237	8,278	
合計		7,029	87,837	10,496	13,127	13,120	13,113	13,106	13,099	13,092	13,165	13,159	15,154	13,148	13,142	13,136	13,131	13,126	13,121	13,117	13,112	13,108		
単年収支			△ 29	△ 237	15,794	12,503	12,510	12,517	12,524	12,531	12,098	△ 3,375	△ 3,369	△ 5,364	△ 3,358	△ 3,352	△ 3,346	△ 3,341	△ 3,336	△ 3,331	△ 3,327	△ 3,322	△ 3,318	
累計収支			△ 29	△ 266	15,528	28,031	40,541	53,058	65,582	78,113	90,211	86,836	83,467	78,104	74,746	71,394	68,048	64,707	61,371	58,039	54,713	51,391	48,073	

樹木葬式墓所 資金計画表

事業年度			20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40		
年度			R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41	R42	R43	R44		
貸出 計画 数	共同埋蔵型 (永年)	新規	41	41	19	17	17	17	17	17	17	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41		
		記名板	14	14	6	6	6	6	6	6	6	6	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	
		使用者累計(3,000)	575	616	635	652	669	686	703	720	737	778	819	860	901	942	983	1,024	1,065	1,106	1,147	1,188	1,229	1,229	
	大型シンボルツリー型 (永年)	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		使用区画数(79)	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	
	小型シンボルツリー型 (有期限20年)	新規	0	0	16	18	18	18	18	18	18	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
使用者累計(126)		126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126		
カーニング型 (有期限20年)	新規	0	0	6	6	6	6	6	6	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	使用者区画数(40)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		
歳入	借入金(起債)																								
	事業収入	使用料(共同) 200,000	9,020	9,020	4,180	3,740	3,740	3,740	3,740	3,740	3,740	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	
		使用料(大型) 800,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		使用料(小型) 500,000	0	0	8,800	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	11,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		使用料(カーニング) 700,000	0	0	4,620	4,620	4,620	4,620	4,620	4,620	4,620	3,080	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		記名板 50,000	770	770	330	330	330	330	330	330	330	330	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	
合計		9,790	9,790	17,930	18,590	18,590	18,590	18,590	18,590	18,590	18,150	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790		
歳出	償還事業	元金 40回払	4,555	2,190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		利子(設計:0.315%、工事:1.000%)	56	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	4,611	2,201	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業支出	工事費	2,000										2,000											2,000	
		維持管理委託 上昇率0.5%	6,261	6,292	6,324	6,355	6,387	6,419	6,451	6,484	6,516	6,549	6,581	6,614	6,647	6,680	6,714	6,747	6,781	6,815	6,849	6,883	6,918	6,918	
		光熱水費 上昇率0.5%	79	80	80	80	81	81	82	82	82	83	83	84	84	84	85	85	86	86	87	87	87	87	
		人件費 上昇率0.5%	1,885	1,895	1,904	1,914	1,923	1,933	1,943	1,952	1,962	1,972	1,982	1,992	2,002	2,012	2,022	2,032	2,042	2,052	2,063	2,073	2,083	2,083	
		改葬納骨,廃材処理 22,000			484	528																			
		記名板作成料 6,578	93	93	40	40	40	40	40	40	40	40	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	
	計	10,319	8,360	8,832	8,918	8,431	8,473	8,516	8,558	8,601	8,696	10,739	8,783	8,826	8,870	8,914	8,958	9,002	9,047	9,091	9,136	9,136	11,182		
合計		14,930	10,561	8,832	8,918	8,431	8,473	8,516	8,558	8,601	8,696	10,739	8,783	8,826	8,870	8,914	8,958	9,002	9,047	9,091	9,136	9,136	11,182		
単年収支			△ 5,140	△ 771	9,098	9,672	10,159	10,117	10,074	10,032	9,549	1,094	△ 949	1,007	964	920	876	832	788	743	699	654	△ 1,392		
累計収支			42,933	42,162	51,260	60,933	71,091	81,208	91,282	101,314	110,864	111,957	111,008	112,015	112,979	113,900	114,776	115,608	116,396	117,140	117,838	118,492	117,101		

樹木葬式墓所 資金計画表

事業年度			41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60		
年度			R45	R46	R47	R48	R49	R50	R51	R52	R53	R54	R55	R56	R57	R58	R59	R60	R61	R62	R63	R64		
貸出 計画 数	共同埋蔵型 (永年)	新規	41	41	19	17	17	17	17	17	17	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41		
		記名板	14	14	6	6	6	6	6	6	6	6	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	
		使用者累計(3,000)	1,270	1,311	1,330	1,347	1,364	1,381	1,398	1,415	1,432	1,473	1,514	1,555	1,596	1,637	1,678	1,719	1,760	1,801	1,842	1,883		
	大型シンボルツリー型 (永年)	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		使用区画数(79)	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	
	小型シンボルツリー型 (有期限20年)	新規	0	0	16	18	18	18	18	18	18	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		使用者累計(126)	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	
	カーネーシング型 (有期限20年)	新規	0	0	6	6	6	6	6	6	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		使用者区画数(40)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
歳入	借入金(起債)																							
	事業収入	使用料(共同) 200,000	9,020	9,020	4,180	3,740	3,740	3,740	3,740	3,740	3,740	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	9,020	
		使用料(大型) 800,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		使用料(小型) 500,000	0	0	8,800	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	11,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		使用料(カーネーシング) 700,000	0	0	4,620	4,620	4,620	4,620	4,620	4,620	4,620	3,080	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		記名板 50,000	770	770	330	330	330	330	330	330	330	330	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	
合計		9,790	9,790	17,930	18,590	18,590	18,590	18,590	18,590	18,150	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790	9,790			
歳出	償還事業	元金 40回払	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		利子(設計:0.315%、工事:1.000%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業支出	工事費										2,000											2,000	
		維持管理委託 上昇率0.5%	6,952	6,987	7,022	7,057	7,093	7,128	7,164	7,199	7,235	7,272	7,308	7,345	7,381	7,418	7,455	7,493	7,530	7,568	7,605	7,643	7,643	
		光熱水費 上昇率0.5%	88	88	89	89	90	90	91	91	91	91	92	92	93	93	94	94	95	95	96	96	97	
		人件費 上昇率0.5%	2,094	2,104	2,115	2,125	2,136	2,147	2,157	2,168	2,179	2,190	2,201	2,212	2,223	2,234	2,245	2,256	2,268	2,279	2,290	2,290	2,302	
		改葬納骨,廃材処理 22,000			484	528																		
		記名板作成料 6,578	93	93	40	40	40	40	40	40	40	40	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93
	計		9,227	9,273	9,750	9,840	9,358	9,405	9,451	9,499	9,546	11,646	9,694	9,742	9,790	9,839	9,888	9,937	9,986	10,035	10,085	10,135	12,135	
合計		9,227	9,273	9,750	9,840	9,358	9,405	9,451	9,499	9,546	11,646	9,694	9,742	9,790	9,839	9,888	9,937	9,986	10,035	10,085	10,135	12,135		
単年収支			563	517	8,180	8,750	9,232	9,185	9,139	9,091	8,604	△1,856	96	48	△0	△49	△98	△147	△196	△245	△295	△2,345		
累計収支			117,664	118,181	126,361	135,112	144,344	153,529	162,668	171,759	180,363	178,507	178,603	178,651	178,650	178,602	178,504	178,357	178,162	177,916	177,622	175,277		